

北九州市社会福祉施設の設置及び管理に関する条例（一部抜粋）

昭和47年3月30日 条例第4号

（趣旨）

第1条 この条例は、法令その他別に定めがあるもののほか、社会福祉施設の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるものとする。

（昭49条例33・一部改正）

（定義）

第2条 この条例において「社会福祉施設」とは、社会福祉法（昭和26年法律第45号）第2条第1項に規定する社会福祉事業のための施設その他これに準ずる施設をいう。

（昭55条例3・平12条例56・令元条例23・一部改正）

（設置）

第3条 市は、別表第1のとおり社会福祉施設を設置する。

（使用又は利用の許可）

第3条の2 社会福祉施設を使用又は利用しようとする者は、あらかじめ市長（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）に使用又は利用の許可を行わせる社会福祉施設にあっては、指定管理者。以下この条及び次条において同じ。）の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可をしないものとする。

- （1） 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- （2） 社会福祉施設の設置の目的に反するとき。
- （3） 社会福祉施設を損傷するおそれがあると認められるとき。
- （4） 前3号に掲げる場合のほか、社会福祉施設の管理上支障があると認められるとき。

（平15条例65・追加）

（使用又は利用の許可の取消し等）

第3条の3 市長は、前条第1項の許可に係る使用又は利用が次の各号のいずれかに該当するときは、使用若しくは利用の許可を取り消し、使用若しくは利用を制限し、又は使用若しくは利用の停止を命ずることができる。

- （1） 前条第2項各号のいずれかに該当するとき。
- （2） この条例若しくはこの条例に基づく処分に違反し、又は関係職員の指示に従わなかったとき。
- （3） 詐欺その他不正の行為により使用又は利用の許可を受けたとき。

（平15条例65・追加）

（使用料及び手数料）

第4条 市は、別表第2の左欄に掲げる社会福祉施設の使用につき、同表の中欄及び右欄に定める使用料を徴収する。

2 市は、別表第3の左欄に掲げる社会福祉施設に関する事務で特定の者のためにするものにつき、同表の中欄に定める手数料を徴収する。

（昭59条例8・平12条例14・平15条例9・平18条例44・一部改正）

(使用料及び手数料の減免)

第5条 市長は、公益上その他特に必要があると認めるときは、使用料又は手数料を減免することができる。

(昭59条例8・一部改正)

(利用料金)

第6条 別表第4の左欄に掲げる社会福祉施設を利用しようとする者（児童福祉法（昭和22年法律第164号）第21条の6の措置、老人福祉法（昭和38年法律第133号）第10条の4第1項第2号の措置、身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第18条第1項又は第2項の措置及び知的障害者福祉法（昭和35年法律第37号）第15条の4又は第16条第1項の措置に係る者を除く。）は、当該社会福祉施設の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を当該社会福祉施設に係る指定管理者に支払わなければならない。

2 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

3 利用料金の額は、別表第4の中欄及び右欄に定める額の範囲内において、指定管理者が市長の承認を受けて定めるものとする。利用料金の額を変更しようとするときも、同様とする。

(平12条例14・追加、平15条例9・平15条例65・平18条例18・平18条例44・一部改正)

(利用料金の減免)

第7条 指定管理者は、市長の承認を受けて定める基準により、利用料金を減免することができる。

(平12条例14・追加、平15条例65・一部改正)

(使用又は利用の制限等)

第8条 市長は、社会福祉施設の利用者又は利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、その使用又は利用を拒み、若しくは制限し、又は施設からの退去を命ずることができる。

(1) 詐欺その他の不正な手段により使用し、又は利用したとき。

(2) この条例若しくはこの条例に基づく規則若しくはこれらに基づく処分に違反し、又はこれらに基づく関係職員の指示に従わなかったとき。

(3) その他施設の管理に支障を及ぼすおそれがあるとき。

(昭49条例33・平10条例50・一部改正、平12条例14・旧第6条繰下・一部改正)

(指定管理者)

第9条 市長は、社会福祉施設の設置の目的を効果的に達成するため必要があると認めるときは、当該社会福祉施設の管理を指定管理者に行わせることができる。

(昭49条例33・平3条例23・一部改正、平12条例14・旧第7条繰下、平15条例65・一部改正)

(指定管理者の指定の手続)

第9条の2 指定管理者の指定を受けようとするものは、市長が別に定める申請書に当該社会福祉施設の管理に関する事業計画書その他規則で定める書類を添えて市長に申請しなければならない。

2 障害児入所施設、児童発達支援センター及び障害者地域活動センター（入所の機能を有するものに限る。）の指定管理者の指定に係る前項に規定する申請については、市長が当該施設の運営の方法、指定管理者に行わせる業務の内容等を勘案して特に必要があると認めるときは、市長が適当と認めたものに限り、当該申請をすることができる。

3 第1項に規定する申請があったときは、市長は、事業計画書の内容、事業計画書に従い当該社会福祉施設の管理を安定して行う能力等を審査の上、最も適当であると認めたものを指定管理者として指定する。

（平15条例65・追加、平20条例35・平22条例21・平24条例14・平27条例33・令2条例40・一部改正）

（指定管理者が行う業務）

第9条の3 指定管理者が行う社会福祉施設の管理の業務は、次のとおりとする。

- （1） 社会福祉施設の維持管理に関すること。
- （2） 社会福祉施設の使用又は利用の許可に関すること。
- （3） 前2号に掲げるもののほか、市長が別に定める業務

（平15条例65・追加）

（指定管理者が行う管理の基準）

第9条の4 指定管理者は、法令、この条例、この条例に基づく規則その他市長の定めるところに従い、社会福祉施設の管理を行わなければならない。

（平15条例65・追加）

（指定管理者の秘密保持義務）

第9条の5 指定管理者の役員若しくは職員若しくはその構成員又はこれらの者であった者は、社会福祉施設の管理に関して知り得た秘密を漏らし、又は当該施設の管理の業務以外の目的のために使用してはならない。

（平15条例65・追加）

（指定管理者の指定の取消し等に伴う管理の業務等の特例）

第9条の6 市は、管理を指定管理者に行わせる社会福祉施設について、地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定の取消し又は期間を定めた管理の業務の全部若しくは一部の停止の命令（以下「指定の取消し等」という。）を行ったときは、当該指定の取消しの日から当該社会福祉施設の管理を新たな指定管理者に行わせる日の前日までの期間又は当該停止の命令を行った期間、当該社会福祉施設の管理の全部又は一部を自ら行うものとする。

2 前項の場合において、当該指定の取消し等の日前に当該指定の取消し等を受けた指定管理者に対して行われ、又は当該指定管理者が行った当該日以後の使用又は利用に係る申請、許可、利用料金の納入その他の行為は、当該日以後の使用に係る申請、許可、使用料の納入その他の行為として市長に対して行われ、又は市長が行った行為とみなす。

3 第1項の場合において、当該社会福祉施設が別表第4の左欄に掲げる社会福祉施設であるときは、市は、当該社会福祉施設の使用につき、第6条の規定にかかわらず、当該指定の取消し等を受けた指定管理者が同条第3項の規定により定め、又は変更した利用料金の額に相当する額の使用料を徴収する。

4 別表第4の規定は、前項の使用料について準用する。

（令3条例32・追加）

(委任)

第10条 この条例に規定するもののほか、社会福祉施設の管理に関し必要な事項は、市長が定める。

(平12条例14・旧第8条繰下)

(罰則)

第11条 詐欺その他不正の行為により、使用料又は手数料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額以下の過料に処する。

(昭59条例8・一部改正、平12条例14・旧第9条繰下・一部改正)

(中略)

別表第1 (第3条関係)

老人福祉施設	老人福祉法第20条の2の2、第20条の5及び第20条の7の定めるところによる。	北九州市立ふれあいむら社ノ木デイサービスセンター	北九州市門司区社ノ木二丁目4番1号
		〃 特別養護老人ホームかざし園	〃 門司区南本町3番3号
		北九州市立新門司老人福祉センター	〃 門司区新門司三丁目5番地
		〃 年長者研修大学校周望学舎	〃 小倉北区新高田二丁目29番1号
介護実習・普及センター	介護に関する知識及び技術並びに介護機器の普及を図ることにより、市民の高齢者福祉に対する理解及び参加の促進に資する。	北九州市立介護実習・普及センター	北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号
年長者研修施設	年長者に対して学習の場を提供することにより、年長者の生きがいがづくり及び社会活動の促進に資する。	北九州市立年長者研修大学校穴生学舎	北九州市八幡西区鉄竜一丁目5番1号
年長者体育施設	スポーツ活動等を通じ、年長者の健康の維持増進その他市民の心身の健全な発達及び世代間における交流の促進に資する。	北九州市立北九州穴生ドーム	北九州市八幡西区鉄竜一丁目5番2号

別表第4（第6条関係）

老人 福祉 施設		介護保険法第8条第26項に規定する介護福祉施設サービスを受けた場合	介護保険法第48条第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額及び指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準(平成11年厚生省令第39号)第9条第3項各号に掲げる費用の額として実費を勘案して市長が定める額	
	新門司老人福祉センター	個人	1人1回 200円	利用料金は、前納とする。
		団体（30人以上）	1人1回 100円	
		回数券（10枚つづり）	1,800円	
		ヘルストロン	1人1回 50円	
	年長者研修大学校 周望学舎	寝具	150円	寝具の利用料は、宿泊者からのみ徴収する。